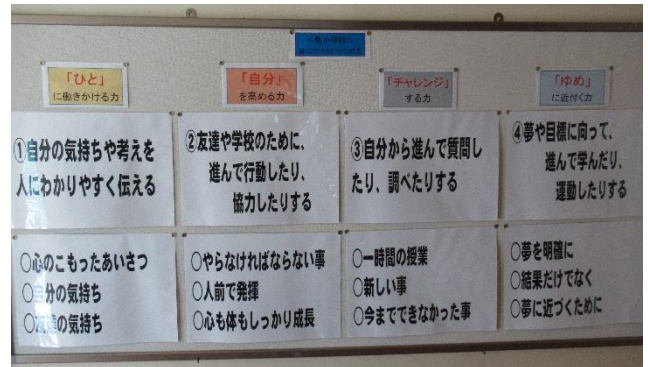


## 1 実践内容

本校の学校教育目標「『ゆめ』に向かってたくましく生きる子供」とし、生きる力を育むキャリア教育の重点は以下の4点である。

- ① 「『人』に働きかける力」
- ② 「『自分』を高める力」
- ③ 「『チャレンジ』する力」
- ④ 「『ゆめ』に近づく力」



子供たちが授業やその他の活動で、意識して活動に取り組むことができるように教師がめあてと共に本時で身に付けたい力を必ず黒板に短冊を掲示して伝えるようにした。

### (1) 『人』に働き掛ける力

一人学年である1年生国語科「おおきなかぶ」では、最後には幼稚園児の前で朗読劇を披露することを目的とした。

お面を着け、大きなジェスチャーで演技をすれば分かりやすいことに気付き自信をもって、幼稚園児に劇を披露した。



### (2) 『自分』を高める力

一人学年である2年生算数科「ひき算」の学習では、一人学びで自分の考えをノートに書き出す学習に挑戦し、多様な考え方を見つけ出した。

学び合いでは、操作活動は黒板を使って説明をし、教師が友達役になり質問をする。質問されたことを分かってもらおうと、言葉を変えたり言葉を加えて操作活動をしたりして聞き手に分かるように説明できるようになった。

### (3) 『ゆめ』に近づく力

本校の自慢の一つである一輪車は、運動会や天竜産業観光まつりで発表の場がある。一人しかいない1年生にとって、2年生以上の仲間と一緒に演技参加することは夢である。体育館での練習では、自分で達成できそうなめあてを教師と確認してから練習を行った。



## 2 成果と課題

- キャリア教育については、今年度から取り組んだ活動であるので教師がまず必要な場面での確に子供に働き掛けることにより子供も少しずつ意識するようになってきた。
- 子供の意識の中でより高い目標に向けて取り組もうとすることが多いが、一人学年では教師に甘えてしまう場面もあった。子供同士の認め合いや外部の方との交流で子供の意識を高め持続することが大切であると感じた。